大腸内視鏡検査に関する意思確認書

医療連携用

（原本 →三宿病院 医療連携室へ　写し →患者様へ）

説明日　　年　　月　　日

三 宿 病 院 長　殿

患　　者　　様 に対する診療行為について、

以下の項目を説明しました。

患者生年月日　　年　　月　　日

医 療 機 関 名　　医師名

説　明　者　名　　職　種　　□同席者なし

説　明　項　目

1. 病名

2. 実施する診療行為　**大腸内視鏡検査**

3. 実施希望日　①　　年　　月　　日

　　②　　年　　月　　日

4. 交付した説明書類：**大腸内視鏡検査をお受けになる方へ**（全3ﾍﾟｰｼﾞ）

□ 5. 本診療行為の必要性（説明書 1 ﾍﾟｰｼﾞ）

□ 6. 推奨する診療行為の内容・効果（説明書 1 ﾍﾟｰｼﾞ）

□ 7. 予想される危険性（合併症、既往症に伴うリスク等）（説明書 1、2 ﾍﾟｰｼﾞ）

□ 8. 実施後の一般的経過（予測される日常生活への影響や予後など）と起こりうる障害（説明書 3 ﾍﾟｰｼﾞ）

□ 9. 通常は発生しないが重大な傷害や死亡の危険性もあり得ること（説明書 3 ﾍﾟｰｼﾞ）

□ 10.要望・質問が可能なこと（説明書 3 ﾍﾟｰｼﾞ）

私は、上記説明を受け、質問、要望の機会も与えられ、内容について理解しました。
私は、説明された診療行為について以下の様に決定しました。（説明を受けた者が□にﾁｪｯｸを入れる）

□ **受けます**　□ **受けません**　□ **今は判断できません（判断保留）**

年　　月　　日

患者署名（自署）

緊急時を除き、未成年者の場合には親権者、本人が署名できない場合は意思決定を代行できる代理人が署名。

↓

代理人署名（続柄：　　）

代理人は、親・配偶者・子・同居の親族とし、それ以外の親族や知人などに拡大解釈することはできない。

連絡先　電話番号：

大腸内視鏡検査をお受けになる方へ

説明用

１． 検査の目的

この検査は、内視鏡を肛門から挿入し、大腸の中（時に小腸の一部まで）を直接観察し、病気の有無と性質を診断する検査です。

２． 検査が必要な理由

便秘、下痢、血便、排便時出血、腹痛、腹部膨満感などの症状、無症状でも便潜血反応で陽性だった方、レントゲン検査で何らかの異常を指摘されたため、精密検査が必要です。

３． 検査の方法

１） 検査前の準備

① 病気の正確な診断のために、大腸の中をできるだけ空にする必要があります。
食事の制限が必要になります。予約票に従って準備をしてください。
下剤（検査当日にモビプレップ・ムーベン・マグコロールなどの腸管洗浄剤）を使用します。この際、消化管の通過障害があると、腸閉塞や穿孔を起こすことがあります。強い腹痛や腹満感など異変を生じたら申し出てください。
（なお、ひどい便秘の方など、特別な準備が必要な方は主治医とよく相談し、指示に従ってください。）

② **血液をさらさらにするお薬（抗血栓薬）を服薬されている方は、特別な処置を行わない通常の内視鏡検査（観察、組織検査）では、担当医から指示が無い限り、抗血栓薬を休薬する必要はありません。ただし、組織検査を行うと出血する可能性はあるので、内視鏡検査医が組織検査の必要性を判断し、出血が起こった場合には適切に対応します。**

２） 検査の実際

検査では、肛門から内視鏡の管を大腸の一番奥（盲腸）まで進めます。その際、**曲がった部分を通る時など腹部の膨満感やつっぱり感、また個人差はありますが**痛みを生じる場合があります。そのため点滴を入れ、腸の緊張をとる鎮痙剤（ブスコパン、またはグルカゴン）や、苦痛を和らげる鎮痛剤（ペチジン等）の注射を使用します。内視鏡が奥まで到達すると、空気を充分に送りながら腸の中を丹念に観察します。そのため腹部の膨満感を生じることがあります。

検査は通常15分から30分程度ですが、午前中か来院していただき、腸管洗浄剤を飲み準備します。痛みの強い場合、また便の多く残ってしまった場合などは大腸の一番奥まで検査せずに途中で終了する場合もあります。

３） 検査中に行う可能性のあること

① 病気が見つかったら粘膜組織の一部を採取し（生検）、組織検査を行うことがあります。生検後に出血が見られた場合には、内視鏡を使って出血を止める処置を行うことがあります。

② 病気に特別な色素を散布し、病気をより明瞭にして診断の助けとする場合があります。用いる色素は安全なものです。

４）最後に、ペチジンを使用された方はこれを中和する薬（ナロキソン）を注射します。

４． 検査による合併症・実施後の身体障害の程度

細心の注意をはらって検査を行っても、まれに内視鏡挿入時に出血や穿孔をおこす場合があります。穿孔とは大腸壁に傷がつき穴があいてしまうことで、腹痛や発熱を伴います。合併頻度は0.04％（2500件に1人）ですが、外科的手術が必要になる可能性があることをご理解ください。

病変の組織採取、ポリープの内視鏡的切除を行う場合、それら自体は痛くありませんが、処置後にできた傷口から出血したり、稀ながら穿孔の危険性がともないます。その他、腸の緊張をとる鎮痙剤（ブスコパン、グルカゴン）による副作用が稀に認められます。

以上のことから極めて稀ですが、下部消化管内視鏡検査によって死亡したり、重度の後遺症を残したりする可能性を否定できません。死亡頻度は0.00081％（125000件に1人）といわれています。

検査中・検査前後に異常をお感じになりましたら、直ちに、お知らせください。

万が一、合併症が発生した場合には手術を含めて最善の処置を行います。

５． この検査に替わり得る別の手段

大腸の中を調べる検査には注腸検査（肛門からバリウムを注入し、レントゲンで撮影する）、大腸CT（特別な準備をし、肛門から二酸化炭素を注入し撮影する）があります。どちらの検査を行うことがよりふさわしいかは主治医とよくご相談ください。

<u>内視鏡検査のメリット</u>：レントゲン検査よりも精密な検査ができます。生検を併用することで、診断をより確かにすることができます。

<u>内視鏡検査のデメリット</u>：レントゲン検査よりも合併症が多い。個人差はありますが検査自体の苦痛がレントゲンよりも苦痛な場合があります。

６．検査を実施しない場合に起こること

病気の正確な診断が出来なくなりなり、適切な治療もできなくなります。

癌などの悪性の病気を患っている場合には、それだけ、病気が進行してしまうことになります。

７．検査後の一般的な経過

１）検査後は腹部膨満感などの違和感が残りますが、排ガスに努めていただくと数時間以内に症状は改善します。大抵の場合は、当日帰宅し通常の生活ができます。
腸管洗浄剤を摂取しているため、大量の水分摂取をしていると思われがちですが、全て排泄されているため体は脱水傾向にあります。水分摂取を心がけてください。

２）ポリープを切除した場合は、状況により１～２泊の入院をしていただくことがあります。またその方は10日間前後、遠出、積極的な運動、アルコール摂取は控える必要があります。

８．その他

１）当院では内視鏡を担当する医師は全員、日本消化器内視鏡学会認定の内視鏡専門医です。それでも、上記の合併症を絶対に避けることはできません。
　また、稀なことですが、病変の見落としも起こりえます。

２）内視鏡写真や生検標本を医学教育や学会発表などに使用させて頂くことがあります。その場合、プライバシーは厳重に守られ、患者さんのことが特定されることは絶対にありません。安全で確実な内視鏡検査を行えるように誠心誠意つとめますが、以上のことをご理解の上、検査をするか否かをお決め下さい。
　なお、疑問の点がございましたら、担当医あるいは内視鏡室までお申し出下さい。

●抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を内服中の方へ

　従来、抗血栓薬を内服している方は休薬した上で内視鏡検査をお受け頂く場合がありましたが、内視鏡検査時の抗血栓薬の休薬に関するガイドラインが改められ、なるべく休薬せずに内視鏡検査を行う事が基本となりました。休薬することで身体に重大な障害を残すリスクをできるだけ低下させようという主旨からです。観察や組織検査だけの内視鏡では、担当医から特別な指示が無い限り、休薬せずに検査を受けていただくようにお願いします。
　ただし、組織検査によって出血が起こりそうな病変が発見された場合には、内視鏡医の判断によっては、抗血栓薬を休薬した上で組織検査のための内視鏡検査を改めてお願いする場合もあります。
　また、組織検査を行い出血が止まらない場合には、入院をお願いすることがあります。

　ご不明な点がございましたらスタッフにお尋ね下さい。

▸三宿病院内視鏡室　03-3711-5771 内線 256/255

内視 予約票

国家公務員共済組合連合会
三宿病院

予約デスク 03-5720-7423

大腸内視鏡検査①	ID:
	様

- 予約日
- 時　間

①来院の際は「初診・再診③番」の窓口へお越しください。

②受付窓口 診療館3階　内視鏡　受付　へお越しください。

大腸内視鏡検査は、内視鏡により大腸の中を観察し、大腸の炎症やポリープなどを診断する検査です。
この検査で正確な診断を行うためには大腸内をきれいにしておくことが大切です。

大腸の中がきれいになっていないと検査に時間がかかったり、検査が受けられない場合があります。

1. 食事制限 検査前日 （　／　）	1）大腸に便が残らないよう3食とも繊維の少ない食事をお採り下さい。 ①避けて頂きたい食品 海藻類、根菜類（ごぼう・レンコン大根など）、豆類、こんにゃく、きのこ類、種のある果物、ゴマ、玄米、脂肪分の多い食品など ②食べて良い食品　うどん、ごはん、豆腐、卵、乳製品、白身魚、ジャガイモ、食パン（ライ麦・胚芽パンは避ける）など 2）夕食は20時までに済ませて下さい。その後は翌日の検査が終わるまで、固形物は召し上がらないで下さい。水分（水・お茶・実の入っていないジュース）は多めにお摂り下さい。
2. 薬について	1）夕食後、病院から処方された下剤（ヨーデル2錠）をお飲み下さい。 2）中止するように言われている薬以外は服用して下さい。

●ご予定の診療が終了した方のお会計は、1階外来⑧番の会計窓口になります。
（来院時、ご使用いただくクリアファイルも⑧番窓口にお返しください。）

●予約等に関するお問い合わせ

国家公務員共済組合連合会 三宿病院　予約担当デスク TEL 03-5720-7423

〒153-0051
東京都目黒区上目黒5-33-12
TEL:03-3711-5771（代表）
FAX:03-3792-1682（FAX）
※患者ID番号・予約票等をご用意の上、ご連絡ください。
三宿病院ホームページ http://www.mishuku.gr.jp

F010902

予約補助票

国家公務員共済組合連合会
三宿病院

予約デスク 03-5720-7423

大腸内視鏡検査②	ID:
	様

①来院の際は「初診・再診③番」の窓口へお越しください。

受付窓口　**診療館3階　内視鏡　受付**　へお越しください。

●来院されましたら、受付に診察券、予約票、同意書をお出し下さい 。

検査当日 食事制限等 （　／　）	①検査当日は、朝食を摂らずにおこしください。 ②血圧や心臓の薬（中止薬以外）は、朝7時くらいまでにコップ1杯程度の水でお飲み下さい。
検査を 受ける前に	①血栓予防の薬（血液をサラサラにする薬）を飲んではいませんか？内服中の方は、必ず申し出て下さい。薬の手帳など、お持ちの方は受付に提出して下さい。 ②血糖を下げる薬を飲んだり、インスリン注射を打ってはいませんか？ ③昨日下剤を飲まれてから便は出ていますか？（1回も出ていないと注意が必要です） ④朝食を食べていませんか？ ※以上のうちいずれかに当てはまる方は受付にお申し出下さい。
来院してから	①まず腸管洗浄液を飲んで、腸の中の便をできるだけ出してしまいます。飲み方は当日の排便状況により異なります。看護師の説明を聞いてから飲み始めて下さい。なかなかきれいにならない方は、浣腸などの追加処置をする場合があります。下着を汚す場合もあるので、替えの物を準備しておくといいでしょう。 ②排便にカスが混ざらないようになった方から検査を始めます。午前は胃カメラを実施してますので、早くても昼前からの検査になります。また先生のご希望や使用する機械によっては順番が前後しお待たせする場合もあります。 ③検査前に着替え、血圧を測って点滴をします。医師の指示で鎮静剤などを使用します。 ④検査終了後は、血圧やふらつきの程度、腹痛などを確認し、帰宅してもらいます。ポリープをとるなどの治療を行った方は点滴を継続し休んでもらってからの帰宅となります。検査終了は昼過ぎ～夕方になる場合があります。

●ご予定の診療が終了した方のお会計は、 1階外来⑧番の会計窓口になります。
（来院時、 ご使用いただくクリアファイルも⑧番窓口にお返しください。）

●予約等に関するお問い合わせ

国家公務員共済組合連合会　三宿病院　予約担当デスク　TEL 03-5720-7423

〒153-0051
東京都目黒区上目黒5-33-12

TEL:03-3711-5771（代表）
FAX:03-3792-1682（FAX）

※患者ID番号・予約票等をご用意の上、ご連絡ください。
三宿病院ホームページ　http://www.mishuku.gr.jp

F020902

大腸内視鏡検査予診票

●検査当日までにご記入お願いいたします。

① 初めての検査ですか。　　はい　・　いいえ

② 腹部の手術を受けたことがありますか。　　はい　・　いいえ

③ 検査3日前からの排便の状況を下記の印に従ってご記入ください。

◎水様便、軟便　〇普通便（バナナタイプ）　△硬便（コロコロタイプ）　×出なかった

	検査3日前 （　　月　　日）	検査2日前 （　　月　　日）	検査前日（就寝前まで） （　　月　　日）	検査前日就寝後～当日朝 （　　月　　日）
性状				
回数				

④　現在、服用中の薬にチェックをお願い致します。

☐ 抗凝固剤　☐ 降圧剤　☐ 心臓の薬　☐ 前立腺の薬　☐糖尿病の薬
☐ その他（　　）

⑤　下記で、該当するものにチェックをお願い致します。

☐ 薬品でアレルギー反応を起こしたことがある。
☐ 狭心症、心筋梗塞で治療中である。
☐ 高血圧で治療中である。
☐ 糖尿病で治療中である。（インスリン使用中、抗糖尿病薬服用中）
☐ ペースメーカーが入っている。
☐ 緑内障で治療中である。
☐ 前立腺肥大症で治療中である。
☐ 脳梗塞になったことがある。
☐ 腎臓病で透析中である。
☐ 妊娠中である。（可能性がある）
☐ 血液疾患で治療中である。
☐ 腹部大動脈瘤があると言われたことがある。

⑥　ポリープが見つかった場合当日の切除は可能ですか。（はい・いいえ）

⑦　抗血栓薬を内服中の方にお尋ねします。組織検査を行った場合は出血が多いと止血処置が必要となり、入院とお願いする場合があります、本日組織検査は

☐　行ってもいい　　☐ 後日に相談してやりたい

その他ご心配なことお尋ねになりたいことなどありましたらお書きください。